

8 日課表

	月	火	水	木	金
8:15~8:30	読書タイム 朝の会	朝会 朝の会	読書タイム 朝の会		
8:35~9:20	1校時	1校時	1校時	1校時	1校時
9:25~10:10	2校時	2校時	2校時	2校時	2校時
10:10~10:30	大休憩(20分)				
10:35~11:20	3校時	3校時	3校時	3校時	3校時
11:25~12:10	4校時	4校時	4校時	4校時	4校時
12:10~12:50	給食				
12:50~13:10	昼休憩				
13:15~13:30	清掃(15分)				
13:35~13:50	① 1~3年(4) 5校時 13:35~ 14:20 帰りの会 14:20~ 14:40 下校 14:50	ぐんぐんタイム (15分)	ぐんぐんタイム(15分)	ぐんぐんタイム(15分)	ぐんぐんタイム(15分)
13:55~14:40	5校時	5校時	5校時	5校時	5校時
14:45~15:30	② (4)5~6年 ぐんぐんタイム 13:35~ 13:50 5校時 13:55~ 14:40 帰りの会 14:40~ 14:55 6校時 15:05~ 15:50 ○委員会 (5・6年) □クラブ活 動 (4・6年)	1・2年 帰りの会 下校 15:05	6校時	1・3年 帰りの会 下校15:05	6校時
15:30~15:45	3・4・5・6年 帰りの会	2・4・5・6年 帰りの会	15:05 下校		3・4・5・6年 帰りの会
下校	①14:50 ②16:00	15:50		15:50	

9 年度計画

4 月		7 月		11 月	
6 金	就任式・始業式・入学式	8 月 日	全国陸上予選	6 火	歌声コンサート
12 木	1年生給食開始	20 金	1学期終業式	10 土	郡陸上記録会(郷原)
14 土	授業参観日・PTA総会	21 土	個人懇談		
17 火	全国学力・学習状況調査(6年)	8 月		12 月	
20 金	1年生交通安全教室	1 水	郡水泳記録会	15 土	個人懇談
24~28 月~金	家庭訪問	6 日	登校日	21 金	2学期終業式・下校指導
29 日	織田記念陸上	23 金	登校日	1 月	
5 月		24~27	野外活動(5年)	7 月 月	始業式・給食開始・下校指導
2 水	遠足	金~月		19 土	郡ミニバスケット(府中)
20 日	安芸郡陸上選手権			24 金	マラソン大会
26 土	南小運動会	9 月		2 月	
6 月		3 月 月	始業式・給食開始・下校指導	1 木	一日入学
4 月 月	自転車教室(4年生)	20 木	参観日	15 金	参観日(下学年・たんぼぼ)
16 土	郡ソフトボール大会(坂)	26・27	修学旅行	22 金	参観日(上学年)
22 金	参観日	木・金		3 月	
10 月		1 金	6年生を送る会		
18 木	海田町陸上記録会	7 木	感謝の会		
		20 水	卒業証書授与式		
		23 金	終了式・離任式・下校指導		

10 教職員一覧

番号	職名	担任	氏名	主任・担当	番号	職名	担任	氏名	主任・担当
1	校長		重森 栄理		24	教諭	特別支援(知)	向井 美穂	
2	教頭		永野 真		25	教諭	特別支援(肢)	柳井美穂子	
3	(兼)事務長		白水 貴		26	教諭	特別支援(自・情)	菊池 實	
4	主幹教諭		清水 早苗		27	教諭	通級教室	砂山 和美	特別支援教育CO
5	教諭		白石 絵美	教務主任	28	教諭	音楽	垣内 加純	
6	教諭	1-1	坂本 由香	学年主任	29	教諭	若手育成	池田貴美恵	再任用
7	教諭	1-2	谷口 緑		30	教諭		真田 紀子	拠点校指導
8	教諭	1-3	川崎 真二	保健主事	31	養護教諭		森田 法子	
9	教諭	2-1	橋本 俊子	学年主任 初任指導	32	栄養士		高橋 和枝	
10	教諭	2-2	吉川 友菜		33	事務主幹		用免 陽子	総務
11	教諭	2-3	高根 直紀		34	非常勤講師		平岡 加代子	初任研修補充 主幹教諭配属校
12	教諭	3-1	中坪 清美	学年主任 研究主任	35	教特配		河原 知子	
13	教諭	3-2	小島 和也		36	教育指導員		尾上 仁美	
14	教諭	3-3	林 真希		37	教育指導員		田島 友里	
15	教諭	4-1	小川 美恵子	学年主任 道徳推進	38	用務員		榎崎 明	
16	教諭	4-2	藤田 裕也		39	介助員		穂土和香菜	
17	教諭	4-3	藏本 憲吾		40	スクールサポート スタッフ		松本 美鈴	
18	教諭	5-1	遠藤 康平	学年主任 グローバル	41	スクールサポート スタッフ		野澤 あや	
19	教諭	5-2	清水 葉月	司書教諭	42	外国語活動指導補助		鈴木 めぐみ	
20	教諭	5-3	宮地 仁美		43	ALT		ダニエル・ ローソン	
21	教諭	6-1	隆 杉佳代	学年主任	44	スクール カウンセラー		三宅 舞	
22	教諭	6-2	中山 智文	体育主任	45	非常勤講師		井原 光	
23	教諭	6-3	宇多 弘典	生徒指導 主事	46	司書		伊達 明子	

11 校舎配置図



平成 30 年 度

学校要覧



海田町立 海田南小学校

校歌

南海田小学校職員 作詞
小鷹狩 幸彦 監修
永井 主憲 作曲

一 海田の町を望み見て 緑ゆたかな山ろくに
ともに語らん友よいざ おおここに
われらが友よ つどいきて
理想の花を つちかわん

二 瀬戸の内海遠く見て 希望にもゆる高台に
鍛えみがかん友よいざ おおここに
われらが友よ たくましく
理想の花を はぐくまん

三 日の浦山を仰ぎ見て 意気盛んなる学舎に
歴史きずかん友よいざ おおここに
われらが友よ 手をとりて
理想の花を さかせなん
ああ われらが 海田南小学校

〒736-0025 安芸郡海田町大立町12番5号

TEL 082-822-6776 / FAX 082-822-3229

HP アドレス <http://www.kaitaminami.wordpress.com/>

メールアドレス kaitaminami-es01@kaitaminami-e.ed.jp

1 学校の概要

本校は、^{かいたいち}海田市小学校と^{ひがしかいた}東海田小学校の児童の増加に伴い、昭和54年4月に新設された学校である。(校区は、月見町(県営を除く)・三迫一丁目・三迫二丁目・三迫三丁目・幸町・南幸町・大立町・西浜・南本町・東一丁目・東二丁目・安芸区矢野東二丁目1番、2番、3番)

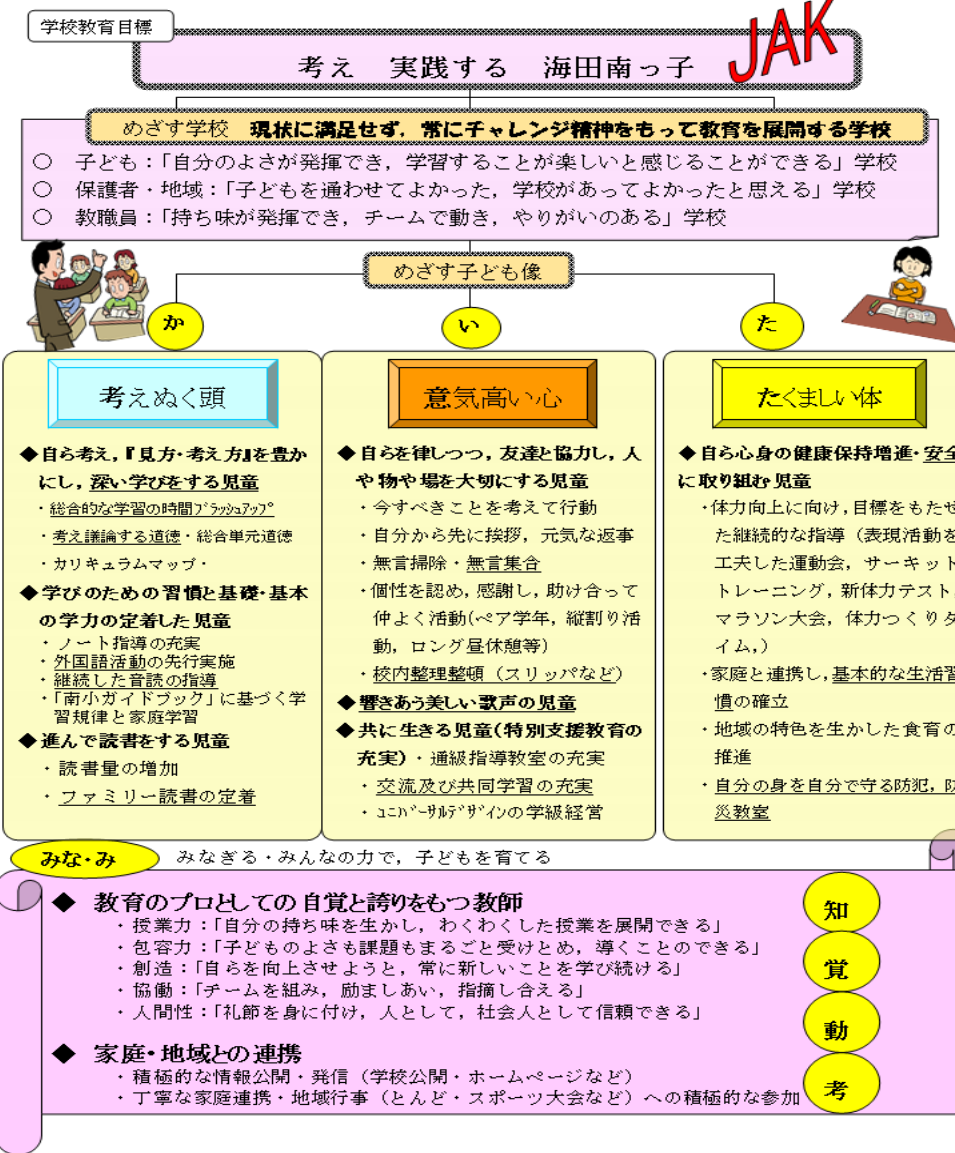
校舎は南側山の斜面にあり、窓からは眼下に広がる住宅地や瀬野川、向かいの日の浦山、遙か遠くに海田湾が臨まれる。周囲が緑に囲まれ、裏山からは鳥の鳴き声が聞こえる自然豊かな学校である。

2 学校の沿革

昭和 54	4	海田町立南海田小学校開校 初代校長 谷口 輝男 就任	(児童数 886名)
	7	プール落成 南海田小PTA結成大会	
昭和 55	3	南海田小学校「校歌制定」 屋内運動場落成 体育倉庫 飼育小屋新設	
昭和 58	5	第2号館落成	
昭和 62	4	二代校長 板本 明 就任	(児童数 863名)
	11	安芸郡算数教育研究大会開催	
昭和 63	4	海田南小学校と校名変更	
	11	10周年記念庭園完成	
平成 3	4	三代校長 小田 瑩 就任	(児童数 702名)
平成 4	4	日本語学級開設 駐輪場整理工事 7 体育館通路屋根増設工事完成	
平成 7	3	浄化槽改修工事完成	
	4	四代校長 小野 修三 就任	(児童数 628名)
平成 8	6	体育館前照明設備設置工事完成	
平成 9	4	特別支援学級開設	
平成 10	4	五代校長 宮武 忍 就任	(児童数 539名)
平成 12	10	広島県図書館教育研究大会開催	
平成 14	3	運動場トイレ新築工事	
	4	六代校長 堂免 寛 就任	(児童数 548名)
平成 15	4	広島県小中学校生徒指導研究推進指定校	
	8	職員室エアコン設置	
平成 16	11	海田南小授業公開(国語)	
平成 17	5	砂場改修工事	
平成 18	8	体育館・一号館二号館改修工事	
	10	海田南小研究公開(国語)	
平成 19	4	七代校長 宮原 正明 就任	(児童数 636名)
	11	教育実践公開	
平成 20	7	運動場改修工事	
	10	教育実践公開	
平成 21	11	海田町小中一貫教育実践公開	
平成 22	4	八代校長 信末 実智則 就任	(児童数 698名)
	8	1号館耐震補強工事	
	11	教育実践公開	
平成 23	1	歌声コンサート	
平成 23	11	教育実践公開	
平成 24	11	歌声コンサート、教育実践公開	
平成 25	4	九代校長 玉井節夫 就任	(児童数 652名)
平成 26	10	学力向上海田中学校区公開研究会	
平成 27	10	海田中学校区公開研究会	
平成 28	4	十代校長 重森栄理 就任	(児童数 645名)
	4	「学びの変革」パイロット事業実践校指定	
	10	海田中学校区公開研究会	
平成 29	4	通級指導教室 開設	(児童数 635名)
	10	海田中学校区公開研究会	

3 学校経営方針

平成30年度海田南小学校経営計画



4 研究内容

主体的・協働的に学び、自分の考えを深める児童の育成
 ～資質・能力を育む「課題発見・解決学習」の授業づくりのあり方～
 (単元構成を工夫し、思考スキルを身に付けさせ、振り返りを活用して次の学びに生かす指導を通して)

研究仮説

生活や総合的な学習の時間と道徳科との関連を図り、考え、議論する道徳科の授業を充実させるための工夫を行えば、他者とのかわりの中で自己を見つめ、道徳的価値の理解、道徳的実践意欲の向上を図ることができ、お互いに高め合おうとする児童を育てることができるであろう。

研究内容

①カリキュラムマップのブラッシュアップ ②道徳学習プログラムの作成
 ③道徳科ノートの工夫(評価) ④考え・議論する道徳の工夫

5 学校のきまり

人や物を大切に作る学校

① 身だしなみ

- ・ 服そう(シャツ・スカート)
- ・ 髪がた(そろえる・結ぶ)

⑤ はきものそろえ

- ・ かかとをそろえて
- ・ くつばこ、トイレ、どこでも

② あいさつ

- ・ 立ち止まって
- ・ お辞儀をして

⑥ 言葉づかい

- ・ はっきりと「はい」の返事
- ・ 「くん」「さん」「いらっしゃいますか」

③ 時間を守る

- ・ 時刻前に集まる
- ・ チャイムで開始

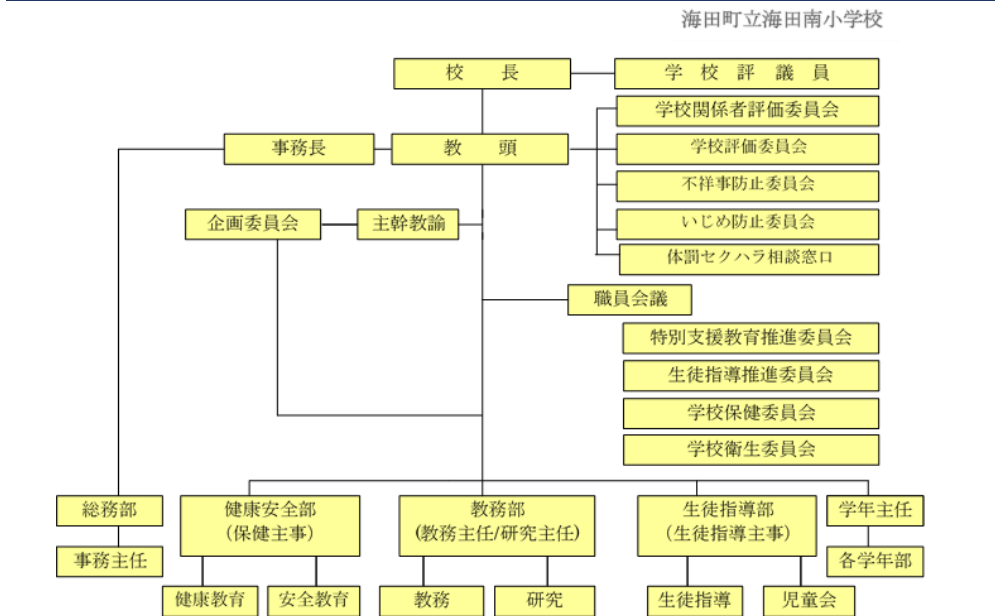
⑦ ろう下

- ・ 心を落ち着けて
- ・ 右がわを歩く

④ そうじ

- ・ だまって
- ・ 道具も整頓

6 組織図



7 在籍児童数

平成30年5月1日

学年	1	2	3	4	5	6	特別支援	計
学級数	3	3	3	3	3	3	3	21
児童数	107	102	118	114	102	95	9	638